



やまと 市議会だより

第311号
令和4年(2022年)5月1日
【編集】
広報委員会
【発行】
大和市議会

3月定例会

令和4年度予算を可決

一般会計 848億円
総額1535億7085万円の予算を可決

令和4年第1回定例会は2月24日から3月23日までの28日間の会期で開かれました。

今定例会には、令和4年度各会計予算をはじめ、小児への新型コロナワクチン接種に係る令和3年度一般会計補正予算(第11号)など議案19件が市長から提出され、請願・陳情8件とともに審議されました。また、議員提出議案として、令和4年度一般会計予算に対する附帯決議など3件が審議されました。(審議結果は8面に掲載)



4月に開室した引地台中学校分教室

令和4年度一般会計予算は、市民生活に関わる各種事業の経費、新型コロナウイルスへの対応を踏まえた経費等「人」、「まち」、「社会」の健康をさらに推進させる施策を盛り込み、前年度比2.0%増となっています。

本会議における審議

所管の各常任委員長からの審査報告後、討論を経て、賛成多数で原案のとおり可決されました。なお、令和4年度一般会計予算に対する附帯決議が提出され、全員賛成で原案のとおり可決されました。(各党・会派の討論内容は、2面に掲載。附帯決議の詳細は、7面に掲載。)

一般会計予算における主な質疑

【総務常任委員会】

○質疑 災害情報機器等整備管理事務について、遠隔情報共有システムはスマートフォンを活用することで、大規模な災害発生時には通信がつながりにくくなると予想されるが、活用は可能か。

ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議を可決

3月15日の本会議で、ロシアに対し厳重に抗議するとともに、国際法の遵守と、ロシア軍をはじめとする侵攻部隊のウクライナ領内からの即時かつ完全な撤収を強く求める「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議」が議員提出議案として提出され、全員賛成で原案のとおり可決されました。

ウクライナ人道支援のための救援金を送りました

本市議会では、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するため、令和4年3月29日に、ウクライナ人道危機救援金として、27万円(大和市議会全議員27人)を日本赤十字社へ送りました。

○答弁 消防本部が使用しているスマートフォン34台のうち24台は災害時優先電話として登録している。優先電話は、電話回線だけでなく通信回線も優先されるため、一般の回線より災害時にも有効に利用できる。

【厚生常任委員会】

○質疑 がん患者等支援事業について、40歳未満のがん患者に対する新規事業を受ける方法を教えてほしい。

○答弁 40歳未満の若年末期がん患者が治療を行わずに在宅生活を送る際、介護保険の適用を受けられないため、在宅生活にかかるサービス料の一部を市が助成するものであり、市に申請して、給付を受けるものとなっている。

【文教市民経済常任委員会】

○質疑 また来てねクーポン券発行事業について、どのような検討があったのか。事業の概要も含めて教えてほしい。

○答弁 店側が客を呼び込むことができること、この事業にできるだけ多くの方が関わることができるようにすること、

事務経費を抑えていくこと、3つのポイントに絞って検討した。500円分の割引券を作成し、1店舗当たり200枚、10万円相当分を渡す。店では、来てくれた客に対して、また来てねという気持ちを込めてクーポン券を渡す。その方がその店に来たときに500円お得に買物ができる。

○質疑 コロナに負けない新規出店応援補助事業について、なぜIT系の補助金が多いのか。

○答弁 情報通信業、ソフトウェアの開発、ホームページ作成の業種を想定している。商店会などにホームページや情報通信技術に得意な事業者が入れば、商店会組織などとIT技術の連携になるので、ITを活用した活動の普及啓発、情報通信業に積極的に入ってほしいという促進の狙いを込めて、金額を倍にしている。

【環境建設常任委員会】

○質疑 公衆便所等管理運営事業について、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、当初より公共のトイレ協力店登録事業の開始目標は本年2月としていたようであるが、なぜそのまま踏み切ったのか。

○答弁 事業は2月1日より開始したが、その後も募集は続いているので、コロナ収束後の申請で問題ないこと、協力店になったからといって貸出しを強制するものではないことも説明している。

令和4年度各会計別予算

(単位:千円、%)

区分	予算額	前年度比増減率
一般会計	84,800,000	2.0
特別会計		
国民健康保険事業	21,745,237	0.7
介護保険事業	18,312,460	4.2
後期高齢者医療事業	3,448,357	8.6
小計	43,506,054	2.7
企業会計		
病院事業	14,556,166	3.1
下水道事業	10,708,626	15.3
小計	25,264,792	7.9
合計	153,570,846	3.1

令和4年度一般会計予算の主な内訳

(単位:千円、%)

歳入	予算額	前年度比増減率
市税	36,510,000	5.6
国庫支出金	17,906,111	△4.0
市債	6,963,400	△7.9
県支出金	6,435,413	4.2
地方消費税交付金	4,930,000	2.9
その他	12,055,076	5.9
合計	84,800,000	2.0

歳出	予算額	前年度比増減率
民生費	41,250,545	3.1
衛生費	10,449,194	△0.6
教育費	8,653,187	△1.4
総務費	7,694,107	△2.9
土木費	6,278,806	14.5
公債費	5,570,635	5.9
消防費	2,499,517	△10.5
その他	2,404,009	2.4
合計	84,800,000	2.0

詳細は市議会ホームページを御覧ください

大和市議会

検索 クリック

その他の主な委員会質疑

【総務常任委員会】

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

○質疑 新たに規定している育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置とは、どのようなものか。また、市はどのような取組を想定しているのか。

○答弁 妊娠、出産等を申し出た職員に対し制度の周知や意向確認を行うこと、職員に対する育休制度の研修実施や相談体制の整備等を規定している。市では、今年2月1日から、対象となる職員と上司と一緒に育休取得等に係るプランを作成する育児応援相談制度を導入するなど、



環境整備に着手している。

○質疑 非常勤の職員のうち、対象になる人数はどのくらいか。

○答弁 令和3年4月1日現在、会計年度任用職員の中で対象条件の1つとなる週3日以上、年121日以上勤務している者が1057人である。

消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部改正

○質疑 条例改正を行う理由は何か。

○答弁 国が非常勤消防団員の報酬基準を定め、各市町村に対し基準を踏まえた見直しを求めたため、消防団員の確保及び労苦に報いるよう処遇を改善する。

○質疑 消防団員を充足させるための具体的な考えは、持っているのか。

○答弁 訓練の在り方等も国の検討会で見直しの検討がなされている。それに沿って、今後の活動について見直しの検討等は、必要に応じて行いたい。

○質疑 年間出勤回数と訓練の回数は。

○答弁 令和2年度の出勤回数は4件、警戒、訓練等は879件である。

【文教市民経済常任委員会】

令和4年度国民健康保険事業特別会計予算

○質疑 電子マネー納付を始めるに当たって、どの程度経費がかかるのか。

○答弁 予算の金額であるが、モバイル等のクレジット等についてのチラシの印刷が約32万3千円、キャッシュレスの納付委託が4万5千円である。

○質疑 収納率の向上及び滞納額の圧縮を図るとあるが、収納率について、コロナによる影響はどうか。

○答弁 令和元年度が89.37%、令和2年度が90.01%で、上昇傾向と

なっている。今年度は令和3年12月末現在で、現年度で対前年の12月末で比べるとプラス0.46%で、収納率はプラスになっている。

令和4年度後期高齢者医療事業特別会計予算

○質疑 後期高齢者医療広域連合納付金事務について、前年度比で2億6337万5千円伸びているが、対象者の増で伸びているのか。

○答弁 対象者の増で額が伸びていることと、全て広域連合で額の試算をして各市に示していく過程の中で、来年度は保険料が2年ごとに料率の改定があるので、見込んだ中で額を算定したと聞いている。

【厚生常任委員会】

令和4年度介護保険事業特別会計予算

○質疑 令和4年度は、更新申請数が増えることに伴って、調査員の増員はされるのか。

○答弁 申請件数が増える状況において、見極めながら委託件数を増やす等、様々な取組により、認定にかかる日数が延びないように努力していく。

○質疑 他市では居宅の方にボランティアをしてもポイントがつくところもあるようだが、今後見直しの予定はあるか。

○答弁 介護予防のポイントを自宅でのボランティア活動でもとすときには管理が大変との事前情報もあり、まずはしっかり管理ができ、施設でのボランティア希望が多いことも踏まえ、そのマッチングからと考え、この方法を取っている。次年度については同じ体制で実施していく予定である。

令和4年度病院事業会計予算

○質疑 ネットワークシステムについて、新しいシステムの構築はこの予算書に載っ

ているか。サイバー攻撃等の対策はどうなっているのか。

○答弁 総合医療情報システムネットワーク機器等構築委託が該当する。新しく構築するシステムについては、今の構築内容と最新のものを利用して構築する予定である。セキュリティ対策を強化した上での新構築となっている。

○質疑 医師の確保や看護師、検査技師それぞれいると思うが、人材の確保に関して現状がどういった状況か。

○答弁 医師については、予算上96人を想定しているが、ほぼ確保ができています。看護師についても、今年度は採用試験を6回行うことで、令和3年度と同じぐらい4月採用の人数を確保できている。

○質疑 看護師は人数的な確保はできていると思うが、ここ2年の退職者が増えている等、コロナの影響はどうか。

○答弁 コロナだからとか、コロナが怖いから等の理由で退職された看護師の話は聞いていない。令和2年度の看護師の退職者数は27人で、令和3年度はこれよりも少ない人数と見込んでいます。

【環境建設常任委員会】

令和4年度下水道事業会計予算

○質疑 北部浄化センター汚泥焼却炉が耐用年数を迎え、造り替えを考えていると思うが、来年度予算には計上されていない。どういう経緯なのか。

○答弁 国より脱炭素化の方針が示され、市においても、脱炭素化を進めるには、焼却炉を含めた下水処理場の脱炭素化が大きなウエートを占めていることから、事業着手を先延ばしし、令和4年度には、改めて検証を行いたい。

○質疑 収益的収入の他会計負担金は一

般会計からの負担だと思いが、合計額を教えてください。

○答弁 一般会計からの負担金は、予算上、何か所かに分けて計上している。令和4年度の合計金額は15億514万6千円である。



一般会計予算に対する各党・会派の討論

(会派の正式名称は8面参照)

賛成討論	自民党	少子高齢化に伴い、社会保障関連経費が増大する厳しい財政運営の中、人、まち、社会の健康を進める予算として評価する。民生費では、待機児童ゼロの継続、中央林間駅周辺まちづくり事業では、駅と周辺住民が安全で便利に利用できるよう整備されることを期待する。北部の児童数増加に伴う教室不足解消や快適な教育環境の確保を要望し、賛成する。	賛成討論	「人」「まち」「社会」の健康に関する施策を押し進める費用が適切に措置されている。特に子育て施策への注力は、人口増加を狙う意味でも高く評価できる。県内公立学校で初となる不登校特例校分教室の開校で子供たちの学べる環境を確保することは、生きづらさの解消につながる。子供たちの生きる力を育み、導いていただくことを期待し、賛成する。
	公明	訪問型産後ケアや公立保育園でおむつサブスクの開始、情報格差解消につながるシニア向けスマホ教室の開催等を評価する。また、中学3年生のスタンドパイプ実技訓練など災害時に地域を守る人材育成に期待する。今後の新型コロナ感染状況に注視した対策と市民に寄り添う施策で市政運営を実施し、適正な予算執行に努めることを要望し、賛成する。	反対討論	やまと公園改修整備事業の270.4%増がいやが応でも目を引く。既設公園等大規模改修事業や公衆便所等管理運営事業など、本当に市民のためを考えた予算なのか、行政としてなさねばならぬことを踏まえた上での予算なのか、甚だ疑問に感じる次第である。全ての事業に反対するのではなく、評価できる点多々あるが、熟慮の結果、反対する。
	ネット	3歳6か月児健康診査事業では、弱視の発見に有効な屈折検査機器の導入を高く評価する。地域公共交通施策事業では、高齢になっても外出しやすいまちづくりの重要な施策として今後の進展を期待する。やまと公園改修整備事業では、様々な要望を一つずつ取り入れる柔軟な対応を行い、市民の公園になるよう努力していくことを強く要望し、賛成する。	虹の会	引地台公園入り口を芝生化し有料駐車場の利用促進は、公共の役割が問われる。やまと公園大規模改修では、運営管理に近隣住民や保育園関係者らへの情報提供と声を聞くよう求める。不登校児対策として、引地台中分教室の取組に期待する。若年がん患者在宅生活支援事業で、分かりやすい案内、産後ケア事業で、機会を捉えた情報提供を求め、反対する。

一般質問 (3月15日・16日・17日)



生活保護の扶養照会運用変更周知で自殺・DV対策、児童虐待防止を!

明るいみらい大和 野内 みつえ

○質問 本年1月21日、私は参議院会館で開かれた、超党派による1都3県における「生活保護のしおり書きっぷり調査」に関する記者会見に出席し、「生活保護制度に伴う扶養照会が令和3年4月から本人の意思が尊重されるようになり、実質的に止められることになったが、こ

の周知がなされていないため、相談者に例外なく扶養照会が行われると誤解させ、申請を躊躇させる可能性がある」などの問題提起をした。生活保護制度は必要な人が必要なときに受けることで社会復帰を目指し、生活の立て直しを図るための重要なものである。扶養照会が高いハ-

ドルとなりこの制度を受けられず、自ら命を絶つ方が出ないように、また、近年増加するDVの問題や児童虐待の解決の一つになるものとして、扶養照会の対象について「扶養義務の履行が期待できる方」「暴力や虐待の問題がある場合には照会を行わない」と生活保護のしおりに記載してはどうか。また、次回の印刷時には、字を読みづらいディスレクシアや認識障がい等をお持ちの方に配慮してユニバーサルフォントで作成してはどうか。○答弁 生活保護のしおりに制度改正に

伴う内容等を記載するとともに、生活保護を必要とする方が正しく制度を理解し、支援を受けることができるよう、ユニバーサルデザインにも配慮し、より分かりやすく読みやすいものとしていく。○要望 自殺対策にもなり、少子高齢化にあって生産年齢人口の確保のためにも、制度を上手に活用することで一度は生活困窮に陥った大和市民が、結果的に明るく未来を夢見て生きていけるよう、新しくなったしおりを用いて丁寧な説明をしていただきたい。



コンビニの公共トイレ協力店募集を再考してみては?

自由民主党 小倉 たかお

○質問 公共トイレについて、市内コンビニエンスストアへ協力店を募集する記事が広報やまとや広報PRボードに掲載された。これを見た市民の方々は自由に使えると認識するだろう。しかし、複数のコンビニオーナーは新聞等報道で初めて知ったとのことで、市側へ確認したところ、コンビニ各社の統括マネージャーに話をしたとのことだが、各社の理解度が違い、一部のコンビニオーナーからは困惑の声があった。そのような状況の中、なぜ実行に踏み切ったのか疑念を抱く。今回の事業は勇み足で市側が進めてしまっているように感じる。既にコンビニのトイレは公然のように利用されている中、なぜ今になって公共トイレ化なのか。

とができた。その後の進め方については、各運営会社から公共のトイレ協力店に興味を持った事業者を紹介してもらい、市が訪問して協力内容等の説明を行った。また、各事業者から、トイレ利用者のマナーの悪さや清掃作業の大変さなどの悩みを抱え、適正利用に協力して欲しいという意見があった。本市としても、清潔に正しく利用してもらうために店舗内に掲示する啓発ポスターの作成など啓発活動に協力していきたいと考えている。



公共のトイレ協力店ステッカー

○答弁 事業開始にあたり、各コンビニエンスストア運営会社の和歌山地区を統括する部署に説明を行い、賛同いただくこ



市民に優しいまち 大和市の実現に向けて

大和正風会 安藤 博夫

○質問 施政方針の「子育て王国大和市」標榜の背景と経緯についての考えを問う。

に合わせ、分かりやすい案内表示の設置を順次図る。

○答弁 「子育て王国大和市」は、子育てに力を入れているまちであることを直接的に表し、子育て世代が実感できるように、子育て施策を力強く推進する。

○意見 現在の和歌山市政は、組織の慢性的な活力不足に陥っていると思う。多選批判で市長の座を得た現市長も、4期15年に及ぶ長期政権で、独断専行型の施策が目につく。市長の一方向的思い込みによる箱物づくりには、もううんざりである。コロナ禍の下、予算の適正な執行とは到底思えない。議会は行政の後追い、追従機関ではない。広く市民の思考を反映し、チェック機能を十二分に発揮してこそ、存在意義がある。まずは、市役所組織の改革、正常化である。現在の専制的トップダウンではなく、ボトムアップで職員が活躍する風通しのよい組織に変える。私は、一議員として、駄目なものは駄目だと言い続け、市民の意思を代弁し尽力したい。

○質問 市の公共トイレの在り方を問う。

○答弁 誰もが安心して利用できる公共トイレの環境づくりは、コンビニに大和市公共のトイレ協力店を募集することで、量的確保を図るとともに、公共トイレの存在を分かりやすく伝えるための地図等の充実を図りたい。今後も安全確保や維持管理の質の向上に努め、安全に安心して利用できる公共トイレの確保に努める。

○質問 引地台公園駐車場の身障者用スペースについての考えを問う。

○答弁 引地台公園は、障がいのある方が安心して利用できるよう、公園の改修



ピンチをチャンスに変えるには 地域活性化の支援を問う

公明党 鳥瀨 まさる



○質問 自治会は、役員の負担、高齢化や新型コロナウイルスの感染により閉ざされがちな状況にある。感染拡大前は毎年自治会フェスタが開催され、先進的な活動の紹介などを通じ活発な交流が行われていた。コロナの影響が出る中で、様々な工夫をしている自治会は少なくない。活動事例の紹介など、つなげる必要がある。本市では、どのように情報収集し、事例紹介などを行っているのか。

○答弁 自治会と言っても、地域の特性など条件は様々である。ボランティア保険の助成や拠点となる自治会館や集会所のインターネット環境の整備など、特色ある活動を支援する本市の考えを伺う。○答弁 支援として、自治会館建設、修繕等のほか、掲示板設置やラジオ体操補助等がある。地域コミュニティの変化に対応した柔軟な活動に対する支援の在り方を見直す必要を認識しており、各自自治会の意見等を踏まえ、検討を進める。

○答弁 地域活動活性化につながる取組は、市自治会連絡協議会の15のブロック会議で情報収集され、同協議会で共有され、自治連やまとに掲載されたり、各ブロックで紹介されるなどして共有されている。市もホームページや広報やまとなどを活用し、積極的に紹介したい。

その他の主な質問項目

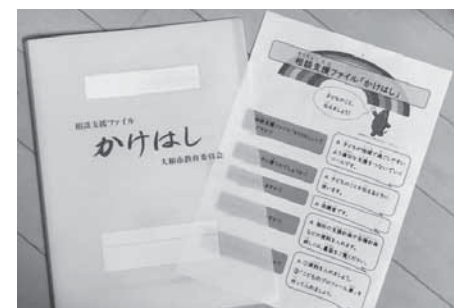
○防災について

○質問 自治会と言っても、地域の特性など条件は様々である。ボランティア保



「かけはし」の活用状況は? 継続支援で共生社会の実現へ

神奈川ネットワーク運動 布瀬 めぐみ



相談支援ファイル「かけはし」

○質問 特別な支援が必要な子どもへの教育のため、成長や支援の記録をファイルし、一貫性のある教育や支援を受けられることを目的に相談支援ファイル「かけはし」が作成されている。学校で提示を求められたことがないという保護者が多いが、どのように活用しているのか。

安な思いに寄り添えるよう努めている。

○答弁 就学前の相談や通級指導教室への入級相談の際に必要なに応じて渡している。支援の継続を図るために個別面談等で活用しており、中学校卒業後の進路等を求められたことがないという保護者が多いが、どのように活用しているのか。

○要望 他市のファイル等を参考に、「かけはし」が活用されていくよう、シート内容の検討や関係機関への周知の徹底、保護者への活用支援、学校での活用方法の検討などを要望する。また、全学校で保護者の希望に合わせた進学支援が行われることを要望する。

○質問 小学校から中学校への進学の際、中学校支援級の見学を希望しても個別対応をしていない学校がある。進学不安に対する中学校の対応について伺う。

その他の主な質問項目

○自転車活用を推進するまちづくりに向けて

○答弁 進学に向けた支援として、各中学校で学校見学や体験入学、説明会及び個別面談などを行い、保護者や児童の不

一般質問 (3月15日・16日・17日)



女性の健康の包括的支援
心身へのサポートの充実を
公明党 河端 恵美子

○質問 治療を継続しながら社会活動を送るがん患者が増加しており、治療に伴う外見変化に対して、医療現場におけるサポートの重要性が認識されている。乳房切除の手術を受け、左右乳房の重さの違いからひどい肩凝りに悩まされ、人工乳房を利用したいが、高額なので助成対象にしてほしいとの声もある。他市の調査では、補整具のニーズは高いが、現実には治療費を優先するため外見のケアまで手が回らないことが多いことが分かった。きめ細かなニーズや女性の心理的に寄り添う支援として、がん患者等ウィッグ購入費助成事業に人工乳房などの乳房補整具を助成の対象に追加できないか。

○答弁 乳房補整具は、がん患者の外見の変化に起因するストレスを軽減するアピランスケアの一つである。助成対象に追加し選択できるようにすることにつ

いて、がん患者に寄り添った助成制度となるよう検討を進める。

○質問 流産や死産を経験した女性の悲嘆は深く、喪失感の大きさから社会活動への影響や、抑鬱、心的外傷後ストレス障害を発症する等のメンタルヘルス上の問題が指摘され、周産期のグリーフケアが重要とされている。きめ細かなグリーフケアには心理社会的支援の体制が必要と考えるが、当事者への情報提供体制の整備として、ホームページ相談窓口の明記やリーフレットを作成してはどうか。

○答弁 相談窓口が分からない、相談してよいかも分からないといった当事者の思いを踏まえ、今後は死産届の提出時にリーフレットを配付するなど、相談窓口や支援に関する情報提供に努めていく。

○要望 当事者の方々に寄り添う丁寧なグリーフケアの体制整備をお願いしたい。



体験活動を子供たちに
泉の森にキャンプ場の整備を
明るいまらい大和 町田 れいじ

○質問 平成27年に国立青少年教育振興機構が行った調査では、子供の頃の体験が豊かな人ほど自己肯定感が高く、大人になってからのやる気や生きがい、モラルや人間関係能力等の資質、現在の年収が高いことが分かった。また、子供の頃に多く体験を行ってきた保護者ほど、その子供も体験を多く行う傾向にある。つまり体験は次の世代にも受け継がれるということだ。都市化が進む本市でも地域での教育活動や自然体験ができる環境づくりが必要であることから、「キャンプ場」という名前であるにもかかわらず、実態としてはバーベキュー場で、キャンプができない「泉の森ふれあいキャンプ場」を整備し、青少年に対する教育目的のキャンプサイトを造ってはどうか。

○答弁 テントによる宿泊ができるキャンプサイトは、地域の青少年活動の活性

化や家族の触れ合いを深める機会の提供につながり、青少年が自然と触れ合う体験を通じて社会性を高める教育的な効果が期待できるものと考えている。キャンプサイトなどについては、泉の森全体としての施設利用の考え方や施設の管理運営の手法、夜間利用に伴う安全面の確保などについて整理する必要があるが、整備が可能であるか検討していく。

その他の主な質問項目

○図書館について



泉の森ふれあいキャンプ場



女子サッカーのまちを目指し
大和シルフィードをプロチームに
自由民主党 中村 一夫

○質問 大和市から女子プロサッカーチームを誕生させるのは、市と市民の願いである。女子サッカーのまちにするという市の考え方に変わりはないか。

○答弁 女子サッカーのまちを目指す本市では大和シルフィードトップチームをホームタウンチームとして認定し、支援してきた。さらなる躍進を期待し、これまで同様全力でサポート、応援していく。

○質問 女子サッカーのプロリーグ(W Eリーグ)に参入するためには、スタジアムの問題がある。市が本当にシルフィードをプロチームにしたいなら、なでしこスタジアムの座席数を5千席にするしかない。本市の考えを伺う。

○答弁 主な基準要件は、椅子席で5千名以上、入会から5年以内に1500ルクス以上の照明及び大型映像装置の設置など厳しい基準が定められている。この



頑張れ大和シルフィード

基準をクリアするには改修工事が必要となるが、東側が線路に、北側及び西側は住宅地に隣接しており、騒音や日照権、電波障害の問題のほか、数十億円規模の改修費用など、慎重に検討すべき課題が多くあることから、今後も引き続き情報収集に努めていきたい。

○要望 まずは5千席にすることを前提に早急に検討されたい。WEリーグに規定を改定してもらう方法もある。あらゆる方面から改定を働きかけてもらいたい。



市民置き去りの公園駐車場の再編
市民の声を聞き市民に優しい施策を
自由民主党 福本 隆史

○質問 今議会の工事総額11億3000万円の巨額のやまと公園改修整備事業など大和市の公園施策に違和感がある。また引地台公園整備事業で駐車場を芝生広場に再整備しているが、整備内容と今後の駐車場の在り方の構想を聞きたい。

○答弁 受益者負担の原則を求める声などを踏まえ駐車場の将来的な有料化も見据えた施設運営を図るための再編を行う。

○意見 今回の再整備は引地台公園北側の駐車場の再編で芝生広場を整備するため公園北側71台の無料駐車場を完全に潰して別途28台分再整備し休日などに無料で利用可能だった橋を渡った場所の駐車場60台分を大型車用として一般利用できなくする内容のはずである。これは今より実質約100台分の無料駐車場が減り無料駐車場を利用できない市民は有料駐車場を利用するしかない。市民は

公園を安心して利用することができ、行政はそれを提供する責務がある。また受益者負担と言うが市民は既に市民税など税負担をしており負担増に違和感を持つ。駐車場料が市民の公園利用の足かせになつてはならず、行政はこうして有料駐車場の稼働率を高めるくらいなら先に無駄遣いをなくすべきである。市民に負担を強いる再編案はしっかりと真摯に市民の声を聞き慎重に行うべきであり、市民のための市民に優しい公園施策を要望する。



接種集中の時期に前例ない死者急増
国の方針うのみにせず慎重な接種を
虹の会 石田 ゆたか

○質問 国民の多くが一斉にコロナワクチン1回目、2回目と接種した令和3年5月から9月の期間に、国の人口動態統計で前年比約4万人もの異常な死者数の増加が示された。これを主因とし、令和3年は前年比死者数の増加が例年平均の実に4倍に迫る同統計史上最大の死者数

増加が示されている。死因別でも循環器系の疾患が1万786人増加、その中で同ワクチンの副反応報告が集中している心疾患の8180人増が占めていることから、ただ国の言うことを聞くだけでなく独自の対応が必要ではないか。

○答弁 厚生科学審議会予防接種・ワク

チン分科会でコロナ禍の超過死亡は、接種数が増加した時期より1か月程度先に発生するなど接種が原因との説明は難しいとされている。また第4波による医療逼迫が影響した可能性も報告されている。

○意見 5月は接種数がピークではなかったが、接種後の死亡リスクが非常に高い高齢者や基礎疾患の方が優先的に集中接種した期間。ただ接種数が少ないからとはいかがなものか。医療逼迫に関しても一因とは考えられるが、他の期間にも医療逼迫は起きているが死者数は跳ね上がった

ていない。世界的に見ても接種率の高い国々でコロナの感染率や死亡率が高い傾向が非常に強いことも留意が必要。小児に関してもニューヨーク州の感染防止効果のデータでは5歳から11歳の2回接種者が未接種者と比べて接種から5週目以降マイナス10%、6週目以降はマイナス41%と1.41倍感染しやすくなるデータも示されている。また、入浴やトイレで踏ん張るなど血圧が上がるシーンで接種後の死亡が厚労省のレポートで多く報告されており、注意喚起を求める。

一般質問 (3月15日・16日・17日)



高齢化が進むと外出が困難に
誰でも安価で利用可能なシステムを
虹の会 大波 修二

○質問 男性、女性ともに後期高齢者と言われる75歳頃から多くの方が一人で乗り物に乗って外出することが困難、あるいは、小さな子供を抱えている層の利用者の特性、移動能力に焦点を当てた論議をより活発化させる必要がある。移動の自由は、人による差異や経年による変化が大きいことに注意し、きめ細かい支援対策を講じるべき。例えばオンデマンド交通は、バスと同様に複数の人を同時に運ぶことができる効率性とタクシーと同様に利用の需要に極めて細かく応えることができる。先進自治体の取組の実態の視察、大和市の地形に合わせた研究、公共交通機関やその他の交通機関を研究分析して、今後どのように考えていくかが重要である。高齢者の足の確保について、現在の交通体系の抜本的な見直しを行い、移動の自由を確保する研究をする

必要がある。移動の自由を保障する観点で調査研究して地域に入り、何が必要かともに考える体制が必要ではないか。
○答弁 気軽に外出できないといった不安を感じる人が増えていることも想定され、今後も進展する高齢社会の中においては、外出に関する様々なニーズや地域の課題等が出てくることも予想されることから、大和市地域公共交通協議会において議論を重ねる。市民の健康やまちにぎわいの創出等につなげていきたい。



一息つけるベンチの設置で
外出促進とコミュニティの向上を
日本共産党 ほりぐち 香奈

○質問 高齢化の進展に伴い、外出に困難を抱える方が増える中、歩道にベンチの設置を望む要望が増えている。坂道の途中や登り切ったところで立ち止まり、一息入れている高齢者の方の姿をよく目にする。休憩するためのスペースの確保が求められていると感じている。来年度、市内4か所にベンチが設置されるが、場所の選定はどのように行われたのか。
○答弁 歩行者の通行の支障にならないことや、安全性の確保を念頭に置き、近くにお住まいになる方が感じる視線やプライバシーにも配慮して、散策路や通学路など通行される方の目につきやすい場所とした。
○質問 行政だけの努力では設置できる場所も限られることから、商店街や企業の所有地、また、家の軒先などに設置費用助成を行うことでベンチ設置を進めて

はどうか。
○答弁 ベンチ設置後、幾つかの課題も出てくると思う。設置に関する役割や方法、設置費用助成制度の導入を含めた支援策など、先進都市の事例を参考にしながら検討を進めるなど、本格的な事業実施に向け取組を進めていく。
○要望 助成には様々な手法があり、地域性や地域の実情にも応じて様々な方法が考えられる。実施が可能なものからぜひ実行することを期待している。



設置されるベンチのイメージ



脱炭素社会に向けて
市民をリードする施策の展開を
公明党 山田 己智恵

○質問 国の温室効果ガス排出量改定を受けて、脱炭素社会に向けた本市の考え方を伺う。また2050年までにCO2排出ゼロを目標とする気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティを表明し、ロゴマークの作成等、印象に残る周知啓発で市民の意識変革を促してはどうか。

○答弁 大和市地球温暖化対策実行計画の改定を進めており、再生可能エネルギーの導入をはじめとした地域脱炭素施策に市民、事業者、国及び他自治体などとの連携協力に取り組んでいきたい。また、気候非常事態宣言を早急に行うとともに、各種周知方法について検討を進める。



外国につながる市民の人権を守る
相談窓口の分かりやすい周知啓発を
神奈川ネットワーク運動 山崎 さゆき

○質問 本市は、人権指針の基本理念として、「すべての人が自他の人権を尊重し、ともに生き、支えあう「わがまち大和」の実現」を目指すことを掲げている。外国につながる市民は安心して暮らしている状況にあるか。外国人の人権を守るために、どのような態度で臨むのか、市の見解を伺う。
○答弁 特定の民族や国籍の人々を排除しようとする不当な差別的言動であるヘイトスピーチは、人権を侵害する行為で、あってはならないものであり、それらを根絶する取組を行っていく必要があると考える。国や県と連携して、未然防止につながる取組を行うことが重要であると認識している。全ての市民に向けた人権に関わる教育と啓発を通して発信するなど、不当な差別的言動の解消に向けた取組を推進していく。

○要望 ヘイトスピーチの解消に向けた取組として、特に韓国の光明市との交流事業は、両市の子どもや若者が交流する事業であり、共生社会に向けた取組として非常に重要なものとする。また、国がヘイト禁止に向けた法整備をしっかりと行うことが最重要と考えるが、自治体が市民を守るためにできることは何か考え、不当な差別的言動の解消に向けた取組を推進していく必要がある。法整備が整い、全ての自治体が市民の心を深く傷つけるヘイトスピーチは断固許さないという態度で臨み、罰則規定を含めた条例をつくっていくのが望ましいと考える。現状でそれが難しいのならば、外国につながる市民が多い大和で、人権について市民が相談しようと思ったときに、直ちに相談窓口を紹介できるようホームページを整えていくべきである。



変化する食を取り巻く環境
学校給食の安心安全を求める
神奈川ネットワーク運動 くにかね 久子

○質問 環境の変化に対応した食育や食に関する施策を様々な世代の方へ実施することが重要であるが、市の考えを伺う。
○答弁 第2次大和市食育推進計画では、家庭だけでなく学校や保育所、地域、企業などが連携し、食に関する正しい知識と食を選択する力を取得し、健康的な食生活が実践できる取組を進めている。
○質問 学校給食の安全基準は重要なもので、ホームページに公開してはどうか。
○答弁 学校給食物資品質基準は、安全な食材の使用を促す目的で納入業者や物資選定委員会委員向けに作成したが、今後はホームページへ掲載を行っていく。
○質問 学校給食において、表示義務のないゲノム編集食品や、来年度から表示義務を課さなくなる遺伝子組換え食品が納入時に混入しないよう、トレーサビリティ（生産履歴）、安全証明書等を求

める一文を加えるなど見直しを図っては。
○答弁 遺伝子組換え食品は、品質基準において原則使用しないことを明記しており、納入業者に提出を義務づけている規格書等により使用の有無を確認している。ゲノム編集食品は、安全性の審査は不要との国の見解が示されているので、品質基準を見直す予定はないが、引き続き国の動向を注視していく。



その他の主な質問項目

○学校のプールのヤゴ救出について
踏まえつつ検討していきたい。
○質問 さらに、高断熱性と高効率設備による住宅の省エネ化の推進が重要である。ホームページ等で省エネ住宅のメリットや国・県の補助金制度の周知、また、断熱窓やドア、床や壁の断熱改修など、省エネ住宅のリフォームに市として補助金制度を導入してはどうか。
○答弁 住宅の省エネ化改修については国や県などの支援制度を周知していく。今後、支援の状況等を踏まえながら、市として求められる支援を考えていく。

一般質問 (3月15日・16日・17日)



アイコン併記の部署表示板でSDGsの周知を
公明党 金原 忠博

○質問 SDGs達成に向けた取組が地方で広がっている。大和市健康都市プログラムには、市の事業にSDGsの17の目標のアイコンが併記してある。健康都市やまとの事業を推進することでSDGsの各目標達成の方向性と軌を一にということである。延期になっていた街づくり学校「SDGsから考える大和のまちづくり」が開催され、講座の中でも健康都市プログラムのSDGsアイコンとの併記が紹介されている。職員は、事業と関わるSDGsの目標を理解しているものと思うが、市民に本市を進める事業がSDGsと軌を一にして進めていることを知っていただくことが必要と考える。市役所内にある各部署の表示板にSDGsの17ゴールのうち、関係の深い項目を明記してはどうか。

○答弁 SDGsの周知啓発を図る上で

様々な場所にSDGsアイコンを表示することは効果的と捉えている。表示板に複数のアイコンを掲出することで、来庁者にとって各部署名が分かりにくくならないように配慮する必要があり、今後、表示板の更新を行う際に検討していく。

○要望 まず代表的なアイコンを1つ、2つを掲示していくことでスタートしていくことも大事だと思う。

その他の主な質問項目

○デジタル化への施策について



SDGsのアイコンを併記 (東京都東大和市提供)



医療、保育、介護など社会を支える方の待遇改善が急務
日本共産党 たかく 良美

○質問 新型コロナウイルスとの戦いは、感染力が増強したオミクロン株とワクチン接種の遅れなど、依然として収束は見えていない。しかし、政府は感染症対応の中心となる公立・公的病院の病床削減計画である地域医療構想を推進し、全国436病院に民間も含めた地域医療構想への対応方針策定を都道府県に求めている。感染防止には公立・公的病院の体制の強化こそ求められている。

また、人との接触を避けられない保育や介護などの現場では、感染症対応などの経費が経営を圧迫している。

さらに感染のリスクのある中で、医療や保育、介護などで働く労働者の賃金は全産業平均よりも8万円も低く、人員確保の障害になっている。対応として政府は収入の引上げを求めており、これらの待遇改善は、放課後児童クラブ指導員、

公務で働く会計年度任用職員らも含まれる。本市における医療、保育など、社会を支える方への待遇改善について伺う。

○答弁 昨年11月19日に閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための経済対策において、保育や看護など社会生活に不可欠な現場で働く方の収入の引上げが掲げられ、保育士等は収入の3%程度、また、看護職員については段階的に3%程度を引き上げることとされた。国の通知では、地方公務員もその対象とされたことから、公務員給与における情勢適応の原則や均衡の原則を踏まえ、市内の民間施設や近隣市などにおける同じ職種の給与水準について十分に比較した上で、本市においても保育園保育士や放課後児童支援員、市立病院看護師などの会計年度任用職員の報酬額について、今年2月から引上げを実施している。



民間の防犯カメラ設置費用を助成し犯罪抑止効果をより高める
大和正風会 あかみね 太一

○質問 市民ニーズの高い街頭防犯カメラ整備事業だが、気になるのが設置コストと維持費である。設置工費が1基当たり150万円、維持費は2年間でおよそ12万円もかかる。市の街頭防犯カメラで市内の全ての場所を網羅することは、現実的ではない。より広範囲に犯罪抑止効果を拡大するべく、市民による防犯カメラ設置を促進するため、設置費用の一部を助成する制度を行ってみたい。

○答弁 市民や企業等による防犯カメラ設置は、市が管理する街頭防犯カメラの死角を補完し、市内の犯罪抑止及び犯罪捜査に大変有効であることから、開発事業の経費において警察と連携して防犯カメラの設置を推奨している。一方で、市民が設置する防犯カメラは防犯効果が高める反面、道路など公共の空間や不特定多数の方が撮影される可能性があり、そ

の設置によりプライバシーが侵害されるのではないかと不安に感じる方もいらっしゃる。民間の防犯カメラにおいても、カメラ機器や映像データの適切な取扱いについて、その管理には一定の適正さが求められる。市民による防犯カメラ設置への補助制度の創設については、様々な課題を整理する必要があることから、現時点では予定をしていないが、犯罪発生状況や市民ニーズについて注視していきたい。



歴史教育における教科書や教材は適切なのか
大和正風会 山本 光宏

○質問 令和元年度中学歴史教科書検定について、自由社が文科省を裁判で訴えている。何が問題と認識しているか。

○答弁 教科書検定は国が行うものであり、答える立場にはない。

○質問 争点は何と理解しているか。

○答弁 教科書検定をめぐる裁判であり、答える立場にはない。

○質問 再採択の際どんな理由で教科書を採択したのか。また貴族の食事の復元と一般の人々の食事の復元では生徒が誤解するおそれがある。そういった記述内容を考慮した上で採択の判断をしたのか。

○答弁 適切な手続にて採択した。

○質問 令和4年度使用中学校歴史教科書の採択にて、教育委員の方々の採択理由はこういったものがあつたのか。

○答弁 市ホームページで公開している会議録のとおりである。



令和4年度使用中学校歴史教科書採択で採択されなかった教科書

○質問 大和市で配付済みプリントを回収したような事例は過去にあつたか。

○答弁 学習指導要領に基づき教材を作成し、内容を理由として児童生徒に配付した教材を回収した事例はない。

○意見 表層的理由でなく、歴史を学ぶ本質を考えて教科書採択を行ってほしい。

その他の主な質問項目

○審議会について

○「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」施行について

「管理職への昇任を希望しない職員が増えている」、「退職する職員が多い」と回答した。これらは実態を表した回答か。仮にそうならば、大いに問題である。

○答弁 職員の配置数については業務が確実に遂行できるよう努めている。給与は他自治体の給与水準指数の平均と比較して低い。少数ながら管理職へ昇任を希望しない職員もいる。退職職員数は、本市が極めて多い状況ではない。

○質問 市長は一貫してパワハラは一切ないと主張されてきた。やっていないこ

とを証明するのは「悪魔の証明」と言われており証明できない。証明できないことを、なぜ一切ないと断言できるのか。

○答弁 適正な業務指示や指導を行っているものと考えている。

○意見 任期を全うできずに辞任し、その後、虚偽の発言をされる方を副市長と提案した責任を市長は、どう考えているのか。今まで市長が、この点に関して反省しているそぶりを見た記憶がない。

その他の主な質問項目

○共同親権に関連して



虚偽の発言で訴えている方を副市長に提案した責任は？
大和正風会 佐藤 正のり

○質問 なぜ職場環境の改善をしなければならぬのか。市長はパワハラを一切していないはずであり、私が初めて一般質問をした11年前から市役所は風通しのよい組織であるにもかかわらず、職場環境を改善しなければならないほど、現在の環境はよくないのか。それはなぜか。

○答弁 本市は風通しのよい組織であると考えているが、よりよい職場環境の改善に向け、相談しやすい体制を構築することなど、引き続き取り組んでいく。

○質問 調査特別委員会のアンケートで、一部の幹部職員は「職員数が不足している」、「他の自治体と比べて給与が低い」、

一般質問 (3月15日・16日・17日)



和田義盛と源義経は本市とゆかり 大河ドラマ活用した地域振興策を

自由民主党 小田 博士

○質問 大和市と鎌倉時代のゆかりをどう捉えているか。
○答弁 鎌倉時代の武将にまつわる伝承がある。源義経が下鶴間の浅間神社に立ち寄り、頼朝へ持参した財宝を埋めた。このとき、夕焼けの空に鶴が舞うのを見たことで鶴舞、転じて鶴間という地名の

由来になったという伝承もある。頼朝が鷹狩りの途中に鶴が舞うのを見たのが由来だとする伝承もある。和田義盛については上和田の城山に住んでいたという伝承が記され、眼病の快癒がかなえられ、薬王院を建立したという伝承もある。渋谷重国は頼朝に帰属し、相模国の大名と

称される存在となった。

○質問 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は市内で3万人以上が視聴しており、鎌倉時代の歴史に関心を寄せている。市内の史跡を説明したリーフ作成、企画展示の実施、コミバスでの車外広告などの取組をできないか。

○答弁 NHKと協力して文化セミナー開催を予定している。県の事業の一つとして、のぼり旗のデザイン提供やポストカードの配布も予定している。提案のあった方法の検討も含め、効果的に地域の需要額の想定を上回った分が約5億4千万円、国の経済対策の地方負担分の措置として約3億1千万円、積算上の調整額で2千万円である。

【厚生常任委員会】

○質疑 不妊治療費助成事業について、不妊治療費が予定より相当多かつたが、想定と実際の違いの背景は何か。

○答弁 周知が進み、助成を使う方が増えている。特に特定不妊治療は、国、県の制度の緩和に伴い対象者が増えている。

【文教市民経済常任委員会】

○質疑 戸籍住民基本台帳等各種届出事務について、転出・転入手続のワンストップ化を説明してもらいたい。

○答弁 引越しワンストップということ



和田義盛との縁がある上和田薬王院 魅力を発信していけるよう取り組みたい。

【その他の主な質問項目】

○健「幸」都市

○学校生活とコロナ対策

で、マイナンバーカード所有者の転出入する際の手続が簡素化される。国のマイナポータルで手続ができ、利用者が転入手続のときの来庁が不要となる。転入の際は書類の記入が不要で、転入届出書に署名するだけになる。自治体間のデータ連携が可能となり、事務が軽減される。

【環境建設常任委員会】

○質疑 清掃費について、ごみ回収量の増に関わり、回収員の負担増に対して、どのような課題が出ているのか。フォロー体制等、行った対策を教えてください。

○答弁 現行体制で何とか乗り切れている。年末年始等には応援を出したり、特別な体制を組むこともあるが、平常時は切れ目なく収集を続けている。

本会議における審議

令和4年度一般会計予算に続いて採決され、討論を経て、全員賛成で原案のとおり可決されました。

附帯決議とは、案件に附帯付随するもので執行に当たって留意する点や希望する事項等を決議とするものです。可決された場合は一般的な決議と同様に議会の機関意思となりますが、市長はその内容に法的に拘束されるものではありません。

令和3年度一般会計補正予算を可決

令和3年度大和市一般会計補正予算(第12号)は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ7億7452万6千円を追加するものです。

主な内容は、歳出で、転出・転入手続のワンストップ化に対応するためのシステム改修に係る経費(508万2千円)、小学校において、感染症対策のための保健衛生用品の購入に係る経費(3105万円)等を増額するほか、事業費の確定に伴う補正等を行うものです。

歳入は市税、地方交付税、国庫支出金等を計上しています。

本会議における審議

所管の各常任委員長からの審査報告後、討論を経て、賛成多数で原案のとおり可決されました。

各委員会における主な質疑

【総務常任委員会】

○質疑 地方交付税について、交付額が大きく伸びている要因は。

○答弁 普通交付税と臨時財政対策債を含めた広義の地方交付税の確定額が約47億5千万円となり、当初予算額より8億7千万円増加した。内訳は、基準財政

前副市長辞職等に関する調査特別委員会における 決定事項等

1月14日

○昨年末に開かれた、職場環境に係わるアンケート調査結果概要についての記者会見について、報告された。

○市長、両副市長、前副市長の4名について、参考人として委員会への出席を求めることが決定された。

○今後のスケジュールを示すことが協議され、4月末を目標とし、状況によりそれ以降に延びる場合もあると決定された。

2月3日

○参考人の委員会出席に当たり、実施について必要な事項を定めた参考人招致運営要領の規定内容が決定された。

○参考人聴取について、市長から日程の再調整を検討願う旨の返答があったことから、市長、両副市長、前副市長の4名に、新たな日程案を示して委員会への出席を求めることが決定された。

○委員会としての目標は何かを示すことについて協議され、「安心できる職場環境に改善すること」と決定された。

2月16日

○参考人聴取を実施する日程を、3月7日とすることが決定された。

○パワーハラスメントに関する実名証言を早急に募ることが決定された。

3月4日

○市長が前副市長を提訴した裁判の進捗状況について、閲覧結果が報告された。○実名証言の募集について、市議会ホームページに掲載したこと、プレスリリースを行ったことが報告された。

3月7日

○市長、両副市長、前副市長の4名の参考人聴取が実施された。

○職員アンケートに記載されていた議員の記述への対応について協議され、議員に関して記述されていた内容と議員名を公表することが決定された。

3月29日

○アンケート調査における議員に関する記載事項の発表についての公表案が決定され、委員会終了後にプレスリリースを実施することが決定された。(公表内容は、市議会ホームページ「市議会について」の「前副市長辞職等に関する調査特別委員会について」から御覧ください。)○実名証言の募集について、4月1日から、当面の間、二次募集を行うことが決定された。

参考人聴取など委員会の詳しい内容は、市議会ホームページから会議録を御覧ください。

市顧問弁護士に関し 一般会計予算で附帯決議

一般会計予算に対する附帯決議が議員提出議案として提出されました。

提出された附帯決議は、訴訟・法律相談事務について、市の顧問弁護士の選任は、市長個人の訴訟との関係で、市民等から疑念をもたれることのないよう、慎重に選任されることを求める内容です。

議会の動き

1月

14日 前副市長辞職等に関する調査特別委員会

2月

3日 前副市長辞職等に関する調査特別委員会
9日 広域大和斎場組合議会定例会が本市で開催され、議長ほか5名が出席
16日 前副市長辞職等に関する調査特別委員会
17日 議会運営委員会 広報委員会
24日 第1回定例会開会 本会議
28日 環境建設常任委員会

3月

1日 文教市民経済常任委員会

2日 厚生常任委員会

3日 総務常任委員会

4日 基地対策特別委員会

議会運営委員会
前副市長辞職等に関する調査特別委員会

7日 前副市長辞職等に関する調査特別委員会

14日 議会運営委員会

15日 一般質問

16日 一般質問

17日 一般質問

22日 議会運営委員会

23日 本会議

第1回定例会閉会

29日 前副市長辞職等に関する調査特別委員会

30日 広報委員会

4月 8日 広報委員会

可決された意見書

〇病児保育事業に対する国の支援拡充等を求める意見書

(提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、神奈川県知事)

※詳細は、市議会ホームページを御覧ください。

公平委員会委員の選任に同意

公平委員会委員である久保博道氏(福田)の任期が3月末で満了することに伴い、同氏を再任したい旨の議案が定例会最終日に提出され、議会は全員賛成で同意しました。

6月定例会の予定

6月

- 1日 本会議
- 3日 環境建設常任委員会
- 6日 文教市民経済常任委員会
- 7日 厚生常任委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 基地対策特別委員会
- 20日 一般質問
- 21日 一般質問
- 22日 一般質問
- 27日 本会議

日程は、都合により変更することがあります。
6月定例会で審議される請願・陳情の受付は、5月24日(火)の17時までとなります。



議案の審議結果

自民党(自由民主党)、公明(公明党)、正風会(大和正風会)、ネット(神奈川ネットワーク運動)、みらい(明るいみらい大和)、共産(日本共産党)、虹の会

《3月定例会で全員賛成で議決した議案等》

【議案】

- 第1号 大和市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第2号 大和市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について
- 第4号 大和市消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第5号 大和市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 第8号 令和3年度大和市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 第9号 令和3年度大和市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 第10号 令和3年度大和市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

- 第11号 令和3年度大和市病院事業会計補正予算(第2号)
- 第12号 令和3年度大和市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 第17号 令和4年度大和市病院事業会計予算
- 第19号 公平委員会委員の選任について

【議員提出議案】

- 第1号 ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議
- 第2号 議案第13号令和4年度大和市一般会計予算に対する附帯決議

- 第3号 病児保育事業に対する国の支援拡充等を求める意見書

【請願】

- 第4-2号 新型コロナワクチン接種において市民の生命と健康を十分に確保するための請願書

【陳情】

- 第3-20号 重度障害者自動車燃料費の助成制度についての陳情書
- 第4-4号 病児保育事業についての陳情書
- 第4-5号 「子育て王国」大和市の施策に期待する陳情書

議案番号	議案内容	審議結果	各議員の賛否																		賛否数									
			自民党			公明			正風会			ネット		みらい		共産		虹の会		○賛成	●反対									
			古木邦明	福本隆史	小田博士	井上正貢	青木一夫	中村隆夫	小倉賢一	木村賢一	河端美子	金原忠博	鳥淵優	山田智恵	吉澤弘	山本光宏	佐藤正紀	安藤博夫	赤嶺太一			布瀬恵	山崎由紀	国兼久子	野内光枝	町田零二	古谷力	堀口香奈	高久良美	石田裕
【議案】第3号	大和市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	23	3
第6号	令和3年度大和市一般会計補正予算(第11号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	3
第7号	令和3年度大和市一般会計補正予算(第12号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	8
第13号	令和4年度大和市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	9
第14号	令和4年度大和市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	3
第15号	令和4年度大和市介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	3
第16号	令和4年度大和市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	3
第18号	令和4年度大和市下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24	2
【請願】第4-1号	小児への新型コロナワクチン接種の中止を求める請願書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	り	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	4	22
【陳情】第4-1号	インボイス制度再検討を求める陳情書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ま	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	16
第4-2号	大和市議会基本条例の改正についての陳情書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ま	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	18
第4-3号	やまと公園改修に係る工事請負契約の見直しについての陳情書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ま	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	15